

様式第7の2（第5条の3関係）

製造所
危険物貯蔵所変更許可及び仮使用承認申請書
取扱所

年 月 日		
渡島西部広域事務組合 管理者 殿	申請者 住所 (電話) 氏名	
設置者	住所 氏名	電話
設置場所		
設置場所の地域別	防火地域別	用途地域別
設置の許可年月日及び 許可番号	年 月 日 第 号	
製造所等の別	貯蔵所又は取 扱所の区分	
危険物の類、品名（指 定数量）、最大数量	指定数量 の倍数	
位置、構造及び設備の 基準に係る区分	令 第 条 第 項 (規則第 条 第 項)	
変更の内容		
変更の理由		
着工予定期日	完成予定期日	
その他必要な事項		
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄
	許可年月日 許可番号	

仮使用の承認を申請する部分	別添図面のとおり	
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄
	承認年月日 承認番号	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 この申請書は、移送取扱所以外の製造所等について、変更許可申請と仮使用承認申請を同時に行う場合に用いるものであること。
 - 3 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 4 品名（指定数量）の記載については、当該危険物の指定数量が品名の記載のみでは明確でない場合に（ ）内に該当する指定数量を記載すること。
 - 5 位置、構造及び設備の基準に係る区分の欄には、適用を受けようとする危険物の規制に関する政令の条文を記入すること。危険物の規制に関する規則の適用条分の記載がさらに必要な場合は（ ）内に記載すること。
 - 6 ※印の欄は、記入しないこと。

様式第4のイ（第4条、第5条関係）

製造所
一般取扱所
構造設備明細書

事業の概要							
危険物の取扱作業の内容							
製造所（一般取扱所）の敷地面積		m ²					
建築物の構造	階数	建築面積		延べ面積			
	壁	延焼のおそれのある外壁	柱		床		
		その他の壁	はり		屋根		
	窓		出入口		階段		
建築物の一部に製造所（一般取扱所）を設ける場合の建築物の構造		階数	建築面積		延べ面積		m ²
設備の概要（取扱）							
令第9条第1項第20号のタンクの概要							
配管			加圧設備				
加熱設備			乾燥設備				
ためます等			電気設備				
換気、排出の設備			静電気除去設備				
避雷設備			警報設備				
消火設備							
工事請負者住所氏名	電話						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 建築物の一部に製造所（一般取扱所）を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。
- 3 令第9条第1項第20号のタンクにあつては、構造設備明細書（様式第4のハ、様式第4のニ又は様式第4のホ）を添付すること。

様式第4のロ（第4条、第5条関係）

屋内貯蔵所構造設備明細書

事業の概要												
建築物の構造	階数				建築面積	m ²		延べ面積	m ²			
	壁	延焼のおそれのある外壁				柱			床			
		その他の壁				はり			屋根又は上階の床			
	窓			出入口			階段			軒高 階高	m	
建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造		階数				建築面積	m ²		延べ面積	m ²		
		建築物の構造概要										
架台の構造												
採光、照明設備												
換気、排出の設備												
電気設備												
避雷設備												
通風、冷房装置等の設備												
消火設備												
警報設備												
工事請負者住所氏名		電話										

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 建築物の一部に貯蔵所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

様式4のハ（第4条、第5条関係）

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
貯蔵する危険物の概要		引火点	°C	貯蔵温度	°C
基礎、据付方法の概要					
タンクの構造、設備	形状				常圧・加圧（ kPa）
	寸法			容量	
	材質、板厚				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
				mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
液量表示装置			引火防止装置	有・無	
不活性気体の封入設備			タンク保温材の概要		
注入口の位置				注入口の付近の接地電極	有・無
防油堤	構造		容量	排水設備	
ポンプ設備の概要					
避雷設備					
配管					
消火設備				タンクの加熱設備	
工事請負者住所氏名		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

本様式…一部改正 [昭和51年3月自令7号]、旧様式第2のハ…全部改正し繰下 [平成元年2月自令5号]、
本様式…一部改正 [平成6年1月自令4号・10年3月6号]

様式第4のニ（第4条、第5条関係）

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要								
構造	壁	延焼のおそれのある外壁				床		
		その他の壁				出入口	(しきい高さ cm)	
	屋	根				その他		
建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造		階数			設置階			
		建築物の構造概要						
タンクの構造、設備	形状				常圧・加圧 (kPa)			
	寸法			容量				
	材質、板厚							
	通気管	種別	数	内径又は作動圧				
						mm kPa		
	安全装置	種別	数	作動圧				
				kPa				
液量表示装置				引火防止装置	有・無			
注入口の位置				注入口付近の接地電極	有・無			
ポンプ設備の概要								
採光、照明設備				換気、排出の設備				
配管								
消火設備				警報設備				
工事請負者住所氏名		電話						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

様式第4のホ（第4条、第5条関係）

地下タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
タンクの設置方法		タンク室 ・ 直埋設 ・ 漏れ防止			
タンクの種類		鋼製タンク・強化プラスチック製二重殻タンク・鋼製二重殻タンク・鋼製強化プラスチック製二重殻タンク			
タンクの構造、設備	形状		常圧・加圧（ kPa）		
	寸法		容量		
	材質、板厚				
	外面の保護				
	危険物の漏れ検知設備又は漏れ防止構造の概要				
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
				mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
	可燃性蒸気回収設備	有（ ）・無			
液量表示装置		引火防止装置	有 ・ 無		
タンク室又はタンク室以外の基礎、固定方法の概要					
注入口の位置		注入口付近の接地電極	有 ・ 無		
ポンプ設備の概要					
配管					
電気設備					
消火設備					
工事請負者住所氏名	電話				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 「直埋設」とは、地下貯蔵タンク（二重殻タンクを含む。）をタンク室以外の場所に設置する方法（地下貯蔵タンクを危険物の漏れを防止することができる構造により地盤面下に設置する方法を除く。）をいう。
 - 「鋼製強化プラスチック製二重殻タンク」とは、令第13条第2項第2号イに掲げる材料で造った地下貯蔵タンクに同項第1号ロに掲げる措置を講じたものをいう。

様式第4のへ（第4条、第5条関係）

簡易タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要					
専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁		床	
		その他の壁		屋根	
	出入口	(しきい高さ cm)		その他	
タンクの構造、設備	形状			寸法	
	容量			材質、板厚	
	通気管			給油、注油設備	
タンクの固定方法					
採光、照明設備					
換気、排気の設備					
消火設備					
工事請負者住所氏名		電話			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のト（第4条、第5条関係）

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式										
製造事業所名										
危険物	類別			側面枳	当て板	材料	材質記号			
	品名					材料	引張り強さ	N/mm ²		
	化学名					板	厚	mm		
	比重					材料	材質記号			
タンク	断面形状				防護枳	材料	引張り強さ	N/mm ²		
	内測寸法	長さ	mm			板	厚	mm		
		幅	mm			装置閉鎖	自動閉鎖装置	有・無		
		高さ	mm				手動閉鎖装置	有・無		
最大容量		l		吐出口の位置		左右後				
タンク室の容量		l		レバーの位置		左右後				
諸元	材料	材質記号			底弁損傷防止方法					
		引張り強さ	N/mm ²		接地導線		有(長さ m)・無			
	板厚	胴板	mm		緊結装置	緊締金具(すみ金具)		有・無		
		鏡板	mm			Uボルト	材質記号			
間仕切板		mm		引張り強さ			N/mm ²			
防波板	材料	材質記号			箱枳	材料	材質記号			
		引張り強さ	N/mm ²				引張り強さ	N/mm ²		
	板厚		mm		消火器		薬剤の種類			
	面積比 $\frac{\text{防波板面積}}{\text{タンク断面積}} \times 100$		%		薬剤量	kg	kg			
タンクの最大常用圧力		kPa		個数	個	個				
装置安全	作動圧力		kPa		可燃性蒸気回収設備		有・無			
	有効吹き出し面積		cm ²							
側面枳	材料	材質記号			備考					
		引張り強さ	N/mm ²							
	板厚		mm							
	取付角度									
接地角度										

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式第4のチ（第4条、第5条関係）

屋外貯蔵所構造設備明細書

事業の概要	
区画内面積	
さく等の構造	
地盤面の状況	
架台の構造	
消火設備	
工事請負者 住所氏名	電話

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

(表)

様式第4のり (第4条、第5条関係)

給油取扱所構造設備明細書

事業の概要							
敷地	給油空地の間口、奥行き			給油取扱所の敷地面積			
	間口	m		m ²			
建築物の給油取扱所の用に供する部分の構造	階数		建築面積		水平投影面積		
	壁	柱	床	はり	屋根	窓	出入口
建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造	階数	延べ面積	建築面積	壁	柱	床	はり
		m ²	m ²				
上階の有無 (給油取扱所以外)	有(用途)・無 (有の場合、屋根又はひさしの有無 有(m)・無)						
建築物の用途別面積	項目	床又は壁で区画された部分の		床又は壁で区画された部分(係員のみが出入りするものを除く。)の床面積			
	用途	1階の床面積		(2階以上を含む。)			
	第1号	m ²					
	第1号の2	m ²		m ²			
	第2号	m ²		m ²			
	第3号	m ²		m ²			
	第4号	m ²					
	第5号	m ²					
計	m ²		m ²				
周囲の塀又は壁							

(裏)

固定給油設備等	項目 設備	型 式	数	道路境界線 からの間隔	敷地境界線 からの間隔
	固定給油設備			m	m
	固定注油設備			m	m
附随設備の概要					
電 気 設 備					
消 火 設 備					
警 報 設 備					
避 難 設 備					
事務所等その他 火気使用設備					
排 水 設 備 等					
タ ン ク 設 備		専用タンク		可燃性蒸 気回収設備	有 ・ 無
		廃油タンク等		簡易タンク	
工 事 請 負 者 住 所 氏 名		電話			

- 備考 1 この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 建築物の一部に給油取扱所を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。
- 3 建築物の用途別面積の欄中「用途」とは、第25条の4第1項各号又は第27条の3第3項各号に定める用途をいう。
- 4 専用タンク、廃油タンク等又は簡易タンクにあっては、構造設備明細書（様式第4のホ又は様式第4のへ）を添付すること。

様式第4のヌ（第4条、第5条関係）

第一種販売取扱所
第二種販売取扱所 構造設備明細書

事業の概要						
建築物の構造	階数		建築面積	m ²	延べ面積	m ²
	構造概要					
店舗部分の構造	面積	m ²	壁	延焼のおそれのある外壁		
	床			その他の壁		
	柱			屋根又は上階の床		
	天井			は	り	
	窓			出	入	口
配合室	面積					m ²
	排出の設備					
電気設備						
消火設備						
工事請負者住所氏名		電話				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 建築物欄は、第一種販売取扱所を
第二種販売取扱所を設置する建築物について記入すること。